



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

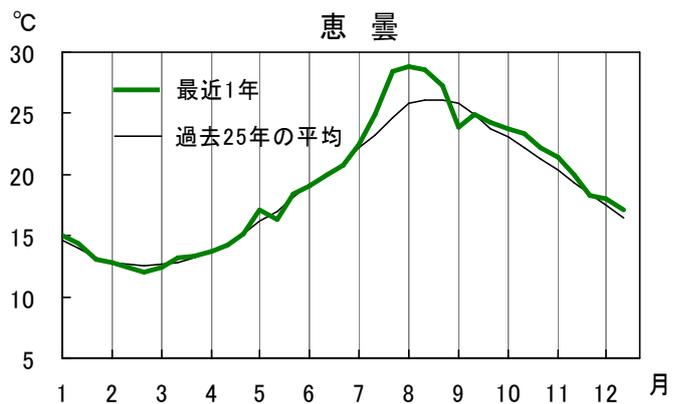
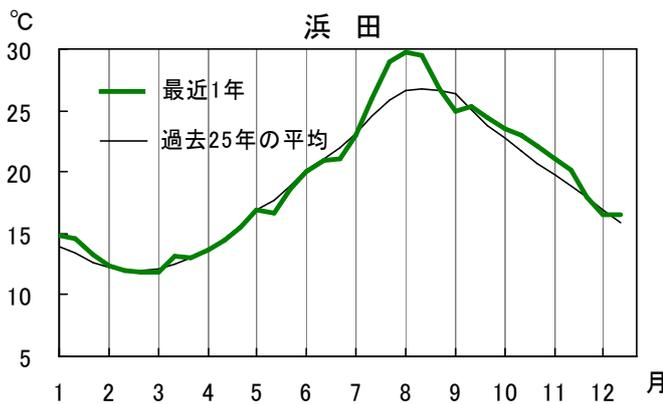
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《11-12月の海況》

11月	月平均	平年差	評価
浜田	19.7℃	+0.9℃	やや高め
恵曇	19.9℃	+0.5℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田、恵曇とも11月上旬から中旬はかなり高めでしたが、11月下旬は平年並みで経過しました。12月は中旬現在では、浜田・恵曇ともやや高めとなっています。



《 11月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田地区、西郷地区及び浦郷地区ともマアジ、サバ類主体の漁獲で、マアジの漁獲量は浜田地区では平年を上回りました(平年の1.4倍)が、西郷地区及び浦郷地区では平年を下回りました(平年の6~7割)。また、サバ類の漁獲量は各地区とも平年を上回りました(平年の1.7~2.6倍)。漁獲金額は浜田地区では平年の1.4倍、西郷地区では平年の7割、浦郷地区では平年の9割でした。

【イカ釣漁業】

浜田港(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の2.4倍と好調でした。西郷港(属人5トン以上)ではソデイカ、ケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の3割と不調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではムシガレイ、ソウハチ主体の漁獲で、1統1航海当たり漁獲量は、前年を2%、平年(過去10年平均)を17%上回り、好調に推移しました。ソウハチは月後半から漁獲量が増加し、平年の3倍の水揚げがありました。一方、アナゴ、アンコウは低調に推移し、平年の6~8割に留まりました。

【小型底びき網漁業】

久手地区ではニギス、アンコウ、和江地区ではソウハチ、キダイ主体の漁獲でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、両地区とも前年を下回りましたが、平年を7~16%上回りました。ソウハチは両地区で量はまとまるものの、久手地区では昨年の3割、和江地区では昨年の7割に留まりました。

【定置網漁業】

石見地区では主要漁獲物のマアジが平年の5割以下の漁獲でしたが、サバ類が平年の約3倍獲れたことやマルアジが多く獲れたことで、全体では平年並の漁獲量となりました。出雲地区では主要漁獲物のマアジが平年の1.6倍、ブリが平年の約2倍、サワラが平年の1.5倍で、全体では平年の1.3倍の漁獲量となりました。隠岐地区では主要漁獲物のブリが平年の1.4倍と好調でしたが、マアジ、カワハギ類がそれぞれ平年の7割の漁獲だったため、全体の漁獲量は平年並でした。

【釣・縄】

石見地区ではサワラ類、メダイ、ケンサキイカなどが漁獲され、漁獲量は平年の5割でした。出雲地区ではケンサキイカ、ブリ、サワラ類などが漁獲され、漁獲量は平年の7割でした。隠岐地区ではクロマグロ、ソデイカなどが漁獲され、漁獲量は平年の6割でした。各地区とも時化の影響で出漁日数が平年の6~8割に減少したことが漁獲量減少の一因と考えられます。

【平成 20 年 11 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	490 トン	272%	121%	24.5 トン	312%	152%	◎
	西郷	マアジ、サバ類	3,505 トン	60%	67%	60.4 トン	72%	85%	○
	浦郷	マアジ、サバ類	2,813 トン	107%	86%	58.6 トン	121%	101%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	56 トン	365%	318%	190 kg	199%	240%	◎
	西郷	ケンサキイカ、ソデイカ	2 トン	10%	7%	86 kg	38%	26%	▲
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ、ソウハチ	327 トン	83%	98%	14.9 トン	102%	117%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス、アンコウ	165 トン	79%	107%	725kg	79%	107%	◎
	和江	ソウハチ、キダイ	273 トン	78%	98%	864kg	94%	116%	◎
定置網 (大型)	浜田	ブリ、サワラ、マダイ、カワハギ	14 トン	88%	95%	459kg	94%	96%	○
	美保関	ブリ、マアジ、カマス、サワラ	129 トン	128%	168%	1,447kg	125%	152%	◎
	浦郷	マアジ、カワハギ、ブリ、ヒラマサ	6 トン	41%	49%	190kg	43%	44%	▲
釣り・縄	仁摩	メダイ、ケンサキイカ、サワラ類、クロマグロ	12 トン	34%	49%	26 kg	54%	66%	▲
	大社	ブリ、クロマグロ	14 トン	40%	43%	32 kg	52%	66%	▲
	西郷	ソデイカ、メダイ	9 トン	94%	57%	38 kg	114%	97%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下



大型クラゲ情報

エチゼンクラゲは 12 月上旬に定置網に数個の入網報告があっただけで、極めて少ない状況です。